

平成二十三年十月吉日

家庭に関する学科等卒業者の入学者選抜についての要望書

全国高等学校長協会家庭部会
理事長 仲野 仁
同 進路調査研究部会
部会長 山形 昭夫

近年、高等学校は生徒の個性・興味・関心に応じた教育を行うことが求められております。

その中で、専門学科としての家庭に関する学科においては、体験的な学習を重視し、実践力に富み、創造性豊かな人材の育成に努めております。また、家庭に関する学科で学んだ専門教育の内容をさらに深めるため、大学の関連学部・学科への進学希望者が増加しております。

しかしながら、現行の各大学入学者選抜においては、専門学科に対する評価が十分ではなく、その改善を強く要望しているところであります。

文部科学省「職業教育の活性化方策に関する調査研究会議」の最終報告においても専門高校の卒業者を対象とした推薦入学の拡大、専門高校卒業者のための特別選抜の導入、高校時代に取得した資格、検定試験への配慮、入試科目での専門科目の出題等の指摘事項がありました。また、「理科教育及び産業教育審議会答申―今後の専門高校における教育の在り方等について」で示された六つの視点のうち、生徒が専門高校卒業後に学習する継続教育機関との連携の推進として、大学等との連結が示されました。

文部科学省による大学入学者選抜実施要項の改正に伴い、貴大学関係学部の入学者選抜実施要項に左記の事項について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

- 一 家庭に関する学科の卒業者が大学に進学し、その専門性をさらに深めることができるよう、家庭に関する学科の卒業者を対象とした推薦入学枠の設置、又は一層の拡充をお願いしたい。
- 二 家庭に関する学科の卒業者を対象とした特別選抜の導入、又は一層の拡充をお願いしたい。
- 三 家庭学科の教科・科目の成績、学校家庭クラブ活動、インターンシップ等の学習成果及び当校長協会・公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会で実施している「文部科学省後援・被服製作技術検定」、「文部科学省後援・食物調理技術検定」、「文部科学省後援・保育技術検定」の合格者等に対する評価を重視されますようお願いいたします。

四 専門教科としての家庭科の科目を入試科目に加えるなどの「配慮をお願いしたい」。

本年度、以上の四項目につきまして重点事項として要望いたします。

平成二十三年十月吉日

家庭に関する学科等卒業者の入学者選抜についての要望書

全国高等学校校長協会家庭部会

理事長 仲野 仁

同 進路調査研究部会

部会長 山形 昭夫

近年、高等学校は生徒の個性、興味・関心に応じた教育を行うことが求められております。その中で、専門学科としての家庭に関する学科においては、体験的な学習を重視し、実践力に富み、創造性豊かな人材の育成に努めております。また、家庭に関する学科で学んだ専門教育の内容をさらに深めるため、最近では、大学の関連学部・学科への進学希望とともに、学科に関連する専修・専門学校への進学希望者が増加しております。

しかしながら、現在の専門学校等の入学者選抜においては、必ずしも家庭学科における学習への評価が十分ではなく、その改善を強く要望したいと考えております。

貴専門学校の入学者選抜において、左記の事項について特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

一 家庭に関する学科の卒業者が専門学校等に進学し、その専門性をさらに深めることができるよう、家庭に関する学科の卒業者を対象とした推薦入学枠の設置、又は一層の拡充をお願いしたい。

二 家庭に関する学科の卒業者を対象とした特別選抜の導入、又は一層の拡充をお願いしたい。

三 家庭学科の教科・科目の成績、学校家庭クラブ活動、インターンシップ等の学習成果及び当校長協会・公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会で実施している「文部科学省後援・被服製作技術検定」、「文部科学省後援・食物調理技術検定」、「文部科学省後援・保育技術検定」の合格者等に対する評価を重視されますよう特段のご配慮をお願いしたい。

以上の三項目につきまして重点事項として要望いたします。

平成二十三年十月吉日

家庭に関する学科等卒業者の採用に関する要望書

全国高等学校長協会家庭部会

理事長 仲野 仁

同 進路調査研究部会

部会長 山形 昭夫

近年、高等学校は生徒の個性、興味・関心に応じた教育を行うことが求められております。その中で、専門学科としての家庭に関する学科においては、体験的な学習を重視し、実践力に富み、創造性豊かな人材の育成に努めております。就職においても、衣食住・保育や福祉といった人々の生活に密接に関係した学びから得た知識や体験を活用して社会に貢献したいという熱意にあふれております。

しかしながら、現在の厳しい経済状況下にあつては、そういった就職希望者が自らの進路実現を図ることが非常に困難であります。人間生活の基本を真摯に学ぶ若者の社会参加の機会が確保されることは、私たちの切実かつ大きな願いであります。

貴団体におかれましては、各都道府県下の企業との連携により、求人や採用に際して、左記の事項に特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

一 家庭科に関する学科等の卒業生が希望を持って社会に踏み出せるよう、企業等における採用枠の確保・拡大をお願いしたい。

二 家庭科に関する学科等の卒業生は女子の占める割合が多く、採用枠も男子に比べて少ない傾向にあるため、特に女子についての採用枠の確保・拡大をお願いしたい。

三 家庭科に関する学科等の卒業生に対して、採用における受験の機会の増大をお願いしたい。

以上の三項目につきまして重点事項として要望いたします。